

## 持留地区でマスターズプロジェクト開始！



▲笑い声が絶えず響きました

4月13日（水）、持留地区農業構造改善センターで持留地区のマスターズプロジェクト（介護予防事業）が始まり、23名が参加しました。

これは、持留地域づくり協議会が実施した体験事業に参加した住民から「持留でもあったら参加したい。」と声があがったことから開始されました。

参加者らは血圧を測定後、町健康運動普及推進員の指導のもと、脳を鍛える『後出しじゃんけん』をしたり、椅子に座りながら足の上下運動、ステップ台を使っての運動などを行いました。

持留地区では毎月第2水曜日に開催されます。

## 『ろうきん』が防犯ホイッスルを贈呈

4月18日（月）、九州労働金庫（ろうきん）は、町内6小学校の新1年生を対象に防犯用のホイッスルを贈呈しました。

この取り組みは『未来を担う子どもたちをろうきん全体で支援したい』という思いのもと、2011年10月からスタートし、今年で5回目になります。

ホイッスルは曾於地区2市1町の42小学校、712名へ贈呈されました。

ろうきんは『子ども110番の家』として、地域とともに子どもたちの安全と安心を確保する活動を行っています。



▲菱田小学校で贈呈式が行われました

## 母校にケヤキ2本を植樹



▲平成12年度卒業生代表の皆さん

3月20日（日）、大崎中学校平成12年度の卒業生が大崎中学校の校庭にケヤキ2本を植樹しました。

これは、30歳の記念同窓会において「お世話になった母校へ恩返しをしよう。」という話がきっかけとなり行われ、卒業生代表の池田信次さんは「今の子どもたちにも、卒業生同様に大崎中学校でたくさんの思い出をつくってもらいたいです。いずれこの木が大きくなり、部活動生の休息の場となれば幸いです。」と話しました。

大崎中学校にはこれまでも少しずつ卒業生によって樹木が植えられ、緑が増えています。